

2024年9月11日

各位

会社名 株式会社オルトプラス
代表者名 代表取締役 CEO 石井 武
(コード番号：3672 東証スタンダード市場)
問い合わせ先 取締役 CFO 川戸 淳裕
(Tel. 050-5306-9094)

資本業務提携変更契約の締結及び第三者割当による新株式発行に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年12月25日付「ジーエフホールディングス株式会社との資本業務提携に関するお知らせ」にて、ジーエフホールディングス株式会社（以下「ジーエフ社」と言います。）と資本業務提携契約を締結し、ジーエフ社が出資するG Future Fund 1号投資事業有限責任組合（以下「Gファンド」と言います。）が当社株式843,000株を取得する旨を公表し、2024年7月25日付「（開示事項の経過）ジーエフホールディングス株式会社との資本関係の強化に関するお知らせ」にて当社とジーエフ社の資本関係の強化を目的としてGファンドによる当社株式843,000株の追加取得を公表しておりましたが、Gファンドは、当該追加取得に関し、当該お知らせにおいて公表していた当社第8回新株予約権を所有するEVO FUNDがその所有する当社第8回新株予約権を行使して取得した当社株式を譲り受けるのではなく、当社がジーエフ社及びGファンドと資本業務提携変更契約（以下「本変更契約」と言います。）を締結し、当社がGファンドに対して第三者割当による新株式の発行をおこなうことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

これと併せて、当社は、2024年9月11日付「第8回新株予約権（行使価額修正条項付）の取得及び消却に関するお知らせ」にて公表したとおり、同日開催の当社取締役会において、当社が2022年11月28日に第三者割当により発行した第8回新株予約権の残存する新株予約権の全部を取得し、消却することを決議いたしましたので、併せてご参照ください。

I. 本資本業務提携について

1. 本変更契約の締結による資本関係の強化の目的及びその内容

(1) ジーエフ社との業務提携の進捗について

当社グループは、グループの中心事業であるゲーム事業にて、サービス提供するゲームタイトルの売上が減少する中で相対的に開発・運営費用等が増加し、各ゲームタイトルから得られる収益を上回る状況が続いたことから、グループ連結で2023年9月期まで10期連続して損失を計上しており、2022年11月28日に第2回無担保転換社債型新株予約権付社債、第7回新株予約権及び第8回新株予約権（行使価額修正条項付）を発行し、その調達した資金により、採算性の低下したゲームタイトルの整理と安定して収益が確保できる受託開発や受託運営案件の獲得を並行して進めるとともに、業務提携等による事業パートナーとの協業案件の積み上げやゲームの周辺領域へ事業領域を拡げ、事業規模の拡大を図ることで月次収支の継続的な黒字化を目指しております。

その一環として、2023年12月25日付「ジーエフホールディングス株式会社との資本業務提携に関するお知らせ」のとおり、国内外の拠点・グループ子会社各社のネットワークやノウハウ、会員ユーザープール等を活用して、デジタル領域での新たな事業展開を目指すジーエフ社と、ゲーム関連領域での開発・運営に関する知見・ノウハウを有する当社が協業することにより、新たなサービスや機能等を共同して開発することを目的として資本業務提携契約（以下「本資本業務提携契約」と言います。）を締結し、ジーエフ社が出資するGファンドが、第8回新株予約権の割当先であるEVO FUNDから、EVO FUNDが権利行使により取得した当社株式を取得いたしました。

当社は、本資本業務提携契約の締結以降、ジーエフ社より、ジーエフ社と資本関係や取引関係にある会員サービスを保有する事業会社の紹介を受けて、当該事業会社の会員アプリのDX化や会員向けの新たなサービス開発を受託しております。今後このような非ゲーム領域の開発実績を積み上げることで受託開発の案件数の拡大を図る方針です。

また、当社は、ジーエフ社との間で、国内外に物流ネットワークを持ち製造から販売まで一気通貫で提供が可能なジーエフ社とゲームを中心とするエンターテインメントコンテンツ制作の当社という両社の強みを活かせる事業・サービスの企画・準備を進めており、その第一弾として、当社は2024年5月に俳優チャット小説アプリ「KISSMILLe（キスマイル）」を運営する株式会社トリニティノットと共同事業契約を締結、2024年7月にはタレント・アーティストを応援するマッチングサービス「STAND FOR ARTISTS」を運営する株式会社七十八に資本参加し、「KISSMILLe（キスマイル）」をプラットフォームとして、当社で制作したオリジナル原作及び他社から許諾を受けた著名なシナリオ原作に、若手タレント・アーティストをキャスティングし、俳優チャット小説アプリとして配信するとともに、ジーエフ社サポートのもと、それぞれの事業領域を持つジーエフ社グループ子会社と連携して各種グッズの製造・販売・ECまで展開することで、これらを「推し活・ファンダム事業」として新たに事業化すべく準備を進めております。

なお、当社は、ジーエフ社とは、当社の主力事業であるゲーム事業においても、当社が国内外のIPを獲得しゲーム化、ジーエフ社が商品化するなど相互の強みを活かせる形での案件の実現化など引き続き具体化に向けた検討を進めることとしております。

(注1) DXとは、Digital Transformation（デジタル・トランスフォーメーション）の略称で、企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立することを指します。

(注2) IPとは、Intellectual Propertyの略称で、著作物やキャラクター作品等を含む「知的財産」のこと

(2) 本変更契約締結の目的及び理由

ジーエフ社は、2023年12月25日付で当社との間で資本業務提携契約を締結し、2023年12月26日にジーエフ社の出資するGファンドが当社株式を843,000株（2024年6月30日現在の発行済株式総数に対する所有割合4.04%）取得しております。

現在、当社が2022年11月28日に発行した第7回新株予約権及び第8回新株予約権（行使価額修正条項付）については、当社が連結決算において2023年9月期まで10期連続して赤字を計上し、また2024年9月期第3四半期決算においても赤字を計上するなど、業績の回復が大きく遅れていることから、株価が下限行使価格を下回って推移しており、その行使がほぼ進んでおらず、2024年7月25日付「（開示事項の経過）ジーエフホールディングス株式会社との資本関係の強化に関するお知らせ」（注）にて開示しておりました、当社の第8回新株予約権を保有しているEVO FUNDより協力を得て、EVO FUNDが権利行使により取得した当社株式をGファンドへ譲渡することで、Gファンドが当社株式843,000株を追加取得するスキームは実現できておらず、結果として資金調達が進んでおりません。

かかる状況下、上記に記載しているジーエフ社との業務提携による事業化を進めるためには、早期に資金を調達することが必要と判断し、新たに本変更契約を締結し、ジーエフ社の出資するGファンドに対して本第三者割当による新株式を発行することといたしました。

なお、本変更契約を締結後も、当社とジーエフ社の業務提携関係に変更はありません。

(注) 当該開示にかかる追加の開示内容

- ・2024年7月31日付「（開示事項の変更）「ジーエフホールディングス株式会社との資本関係の強化に関するお知らせ」の取得予定日変更に関するお知らせ」
- ・2024年8月22日付「（開示事項の変更）「ジーエフホールディングス株式会社との資本関係の強化に関するお知らせ」の取得予定日の再変更に関するお知らせ」

(3) 資本提携の内容

当社は、本第三者割当増資により、以下の通り G ファンドに当社普通株式 843,000 株を割り当てます。

本第三者割当前の所有株式数	843,000 株 (2024年6月30日現在の発行済株式総数に対する所有割合 4.04%)
本第三者割当株式数	843,000 株 (注)
本第三者割当後の所有株式数	1,686,000 株 (本第三者割当増資後の発行済株式総数に対する所有割合 7.77%)
本第三者割当の払込期日	2024年9月26日

2. 本資本業務提携の相手先の概要 (ジーエフ社の概要)

(1) 名称	ジーエフホールディングス株式会社	
(2) 所在地	東京都港区高輪三丁目 12 番 8 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長 児玉 和宏	
(4) 事業内容	グループ会社の管理統括 グループ事業：物流・検品事業、フォワーディング事業、ECフルフィルメント等	
(5) 資本金	10,000 千円	
(6) 設立年月日	2011年10月17日	
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

* 「大株主の状況」及び「最近3年間の財務状況及び経営成績」については、非開示とすることを相手方より求められているため、記載しておりません。

3. 新株式の割当予定先の概要 (G ファンドの概要)

① 名称	G Future Fund 1 号投資事業有限責任組合	
② 所在地	東京都中央区八重洲一丁目 4 番 16 号	
③ 設立根拠等	投資事業有限責任組合契約に関する法律に基づく投資事業有限責任組合となります。	
④ 組成目的	投資対象企業の事業拡大やバリューアップの支援を目的とする。	
⑤ 組成日	2023年9月7日	
⑥ ファンド規模	30 億円	
⑦ 出資者・出資比率・出資者の概要	(無限責任組員)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・トラストアップ株式会社 0.6% (有限責任組員) ・ジーエフホールディングス株式会社 98.8% ・株式会社プレンティアー 0.6% 	
⑧ 業務執行組員の概要	名称	トラストアップ株式会社
	所在地	東京都中央区八重洲一丁目 4 番 16 号
	代表者の役職・氏名	代表取締役 鈴江 正幸
	事業内容	投資事業組合、投資事業有限責任組合及び匿名組合財産の運営及び管理、経営コンサルティング、不動産事業

	資本金	2,000万円
⑨ 上場会社と当該ファンドとの関係	上場会社と当該ファンドとの関係	当社株式を4.04%保有しております。 人的関係・取引関係はありません。 また、関連当事者にも該当しません。
	上場会社と業務執行組合員との関係	資本関係・人的関係・取引関係はありません。 また、関連当事者にも該当しません。
	上場会社と国内代理人との関係	資本関係・人的関係・取引関係はありません。 また、関連当事者にも該当しません。

(注) 割当予定先の概要の欄は、2024年8月31日現在におけるものです。

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2024年9月11日
(2) 本変更契約の締結日	2024年9月11日
(3) 本第三者割当の払込期日	2024年9月26日

5. 今後の見通し

下記「II. 本第三者割当増資について 8. 今後の見通し」をご参照ください。

II. 本第三者割当増資について

1. 本新株式の募集の概要

(1) 払込期日	2024年9月26日
(2) 発行新株式数	843,000株
(3) 発行価額	1株につき118円
(4) 調達資金の額	99,474,000円 発行諸費用の概算額を差し引いた手取り概算額については、「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期 (1) 調達する資金の額」をご参照ください。
(5) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、次の者に割り当てます。 G Future Fund 1号投資事業有限責任組合 843,000株
(6) その他	本第三者割当については、金融商品取引法に基づく有価証券通知書を提出しております。

2. 募集の目的及び理由

上記「I. 本資本業務提携について 1. 資本業務提携契約の変更契約の締結による資本関係の強化の目的及びその内容」をご参照ください。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額 (差引手取概算額)

① 払込金額の総額	99,474,000円
② 発行諸費用の概算額	2,400,000円
③ 差引手取概算額	97,074,000円

(注) 1. 発行諸費用の概算額の内訳は、弁護士費用1,000,000円、登記関連費用480,000円、株式事務取扱手数料450,000円、信用調査費用350,000円などです。

2. 発行諸費用の概算額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。

(2) 調達する資金の具体的な使途

上記差引手取概算額 97,074,000 円については、下記記載の資金使途に充当する予定であります。

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
新規事業開発に係る資本業務提携先との協業のための資金 ・ 「KISSMILLE」にて配信するコンテンツの制作費用 ・ 有名IPのシナリオ化権及び商品化権等の獲得費用 ・ 押し活グッズの制作費用及び販売費用	97	2024年9月～2025年9月
合計	97	

(注) 調達資金を実際に支出するまでは、銀行口座にて管理いたします。

資金使途についての詳細は以下のとおりです。

① 「KISSMILLE」にて配信するコンテンツの制作費用

現在事業化に向けて準備を進めている俳優チャット小説アプリ「KISSMILLE (キスマイル)」のコンテンツ制作は、シナリオの制作から始まり、俳優のキャスティング、ボイス収録、写真撮影、スクリプト作成、アプリ実装を経て配信開始までに約5～6か月程度かかり、先行して費用が発生することから、この制作費用として充当する予定です。

② 有名IPのシナリオ化権及び商品化権等の獲得費用

俳優チャット小説アプリ「KISSMILLE (キスマイル)」のシナリオは、まずは当社原作のオリジナルシナリオにて開始いたしますが、シナリオ毎の売上拡大、シナリオ制作期間の削減によるコンテンツ制作期間の短縮、連載化による安定的かつ継続的なコンテンツ配信を狙いとして、有名なIPのシナリオ化権の獲得を目指します。また、派生するグッズ関係の商品化権やゲーム化権等についても、可能な限り同時に獲得する方針です。これらの権利取得の為に費用に充当する予定です。

③ 押し活グッズの制作費用及び販売費用

俳優チャット小説アプリ「KISSMILLE (キスマイル)」にて販売する俳優のプロマイドやステッカー、缶バッジ等や、今後当社が開発・運営するゲームなどのキャラクター商品など、いわゆる「押し活グッズ」の制作・販売費用に充当する予定です。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

本第三者割当増資は、上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期 (2) 調達する資金の具体的な使途」に記載の使途に充当することにより、本第三者割当増資の資金使途として合理性があると判断しております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本第三者割当の発行価額については、2024年6月11日から本第三者割当に係る取締役会決議日の直前営業日である2024年9月10日までの3か月間の株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）における当社普通株式の終値の平均値である118円（円未満切り捨て。終値単純平均値において、以下同じ）といたしました。

当該発行価額に関しては、割当予定先との協議の結果、取締役会決議日直近の市場株価は算定根拠として客観性が高い一方、2024年8月5日以降の株式市場の急変前後や同月8日の当社第3四半期決算短信の公表日を含む3ヶ月の平均株価という平準化された値も参考とすることが、株式市場における当社の適切な企業価値を反映でき、かつ、一時的な株価変動の影響などの特殊要因を排除できるため算定根拠として合理的であることから、両者を比較の上で高い価格とすることとし、具体的には、本第三者割当に係る取締役会決議日の直前営業日である2024年9月10日の東京証券取引所における当社普通株式の終値、又は同直前3か月間の終値の

平均値のいずれか高い価格とすることで、割当予定先と合意したものであります。

なお、発行価額 118 円は、本第三者割当に係る取締役会決議日の直前営業日である 2024 年 9 月 10 日の東京証券取引所における当社普通株式の終値である 103 円に対し 14.56%のプレミアム、本取締役会決議日の直前営業日までの 1 ヶ月間（2024 年 8 月 13 日から 2024 年 9 月 10 日）の終値単純平均値 107 円に対し 10.28%のプレミアム、同直前 6 ヶ月間（2024 年 3 月 11 日から 2024 年 9 月 10 日）の終値単純平均値 125 円に対し 5.6%のディスカウントとなります。

また、上記発行価額につきましては、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠したものであり、かつ監査等委員会から、上記算定根拠による発行価額の決定は適正・妥当であり、割当予定先に特に有利な発行価額には該当せず適法である旨の意見を得ております。

(2)発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当により増加する新株式数 843,000 株（議決権個数 8,430 個）は、現在の発行済株式総数 20,850,533 株（議決権個数 208,505 個）に対し 4.04%（議決権ベースでは 4.04%）の割合で希薄化が生じます。このように、当社株式の希薄化が生じることとなりますが、本第三者割当増資は当社とジーエフ社の資本関係をより一層強化するものであり、中長期的な当社の企業価値向上及び株主価値の向上に寄与することが可能であると考えており、発行数量及び希薄化の規模は合理的な水準であると判断しております。

なお、本日公表しております「第 8 回新株予約権（行使価額修正条項付）の取得及び消却に関するお知らせ」に記載のとおり、第 8 回新株予約権につきましては、残存する新株予約権の全部（8,430 個）を 2024 年 9 月 26 日付（予定）で、1 個あたり 71 円（発行価額と同額）にて買い取り、消却することを決議しております。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

上記「I. 本資本業務提携について 3. 新株式の割当予定先の概要（G ファンドの概要）」に記載のとおりです。

（注）当社は、割当予定先である G FUTURE FUND 1 号投資事業有限責任組合及び同社出資者であるジーエフホールディング株式会社と代表取締役である児玉和宏氏、トラストアップ株式会社と代表取締役である鈴江正幸氏、株式会社プレントイーと代表取締役である尾持繁美氏について、反社会的勢力等と何らかの関係性を有していないか確認するため、過去の新聞記事や WEB 等のメディア掲載情報を検索することにより、割当予定先が反社会的勢力でない旨を確認いたしました。また、割当予定先からは、反社会的勢力との間において一切の関係がない旨の誓約書の提出を受けております。

さらに慎重を期すため、企業調査、信用調査を始めとする各種調査を専門とする第三者調査機関である株式会社東京エス・アール・シー（住所：東京都目黒区上目黒 4 丁目 26 番 4 号、代表取締役：中村勝彦）に調査を依頼しました。そして、同社の保有するデータベースとの照合等による調査を行った結果、2024 年 8 月 27 日、割当予定先、その出資者及び役員に関する反社会的勢力等の関与事実がない旨の報告書を受領いたしました。

以上から総合的に勘案し、当社は各割当予定先、並びに割当予定先の代表者及び出資者とその代表者については、反社会的勢力等との関係がないものと判断し、反社会的勢力等と関りがないことの確認書を東京証券取引所に提出しております。

なお、ジーエフホールディング株式会社は、G Future Fund 1 号投資事業有限責任組合において主要な出資者であり、その影響力により、同組合が当社株主としての権利行使を行う権限、またはその指図権限、投資権限に対して、実質的な影響を与える可能性があります。

(2) 割当予定先を選定した理由

上記「I. 本資本業務提携について 1. 本変更契約の締結による資本関係の強化の目的及びその内容」に記載のとおりです。

(3) 割当予定先の保有方針

当社は、割当予定先の当社株式の保有方針について、割当予定先が中長期的に保有する方針である旨を本変更契約書面にて確認しております。また、本変更契約書面には割当予定先が当社株式を第三者に譲渡等をする場合には、当社の書面による事前の承諾を要する旨の制限が付されております。

なお、当社は、割当予定先より、割当日より2年間において、本第三者割当に係る株式の全部又は一部を譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価格、譲渡の理由、譲渡の方法等を当社に書面にて報告すること、当社が当該報告内容を東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることにつき確約書を取得する予定です。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、割当予定先であるG Future Fund 1号投資事業有限責任組合の資金状態について、G Future Fund 1号投資事業有限責任組合の取引金融機関が発行した2024年8月14日付預金残高証明書の写しを取得し、2024年8月9日時点で本第三者割当増資の払込に必要な資金を確保していることを確認しており、当該資金は、2024年7月31日に公表した「(開示事項の変更)「ジーエフホールディングス株式会社との資本関係の強化に関するお知らせ」の取得予定日変更に関するお知らせ」に記載されている当社株式の追加取得のために調達した資金であるとの説明を受けており、払込の実施に支障はないと判断いたしました。

なお、2024年8月19日付で公表されている株式会社イー・ロジットによる第三者割当に対する払い込みについては、その払込期日の前日までに別途キャピタルコール方式により各出資者から入金されるものであることを口頭にて確認しております。

(5) 株券貸借に関する契約

該当事項はありません。

7. 募集後の大株主及び持株比率 (%)

募集前 (2024年3月31日現在)		募集後 (本新株式発行後)	
BNP PARIBAS LONDON BRANCH FOR PRIME BROKERAGE CLEARANCE ACC FOR THIRD PARTY	8.34	BNP PARIBAS LONDON BRANCH FOR PRIME BROKERAGE CLEARANCE ACC FOR THIRD PARTY	8.02
NHN テコラス株式会社	5.33	G Future Fund 1号投資事業有限責任組合	7.77
G Future fund 1号投資事業有限責任組合	4.04	NHN テコラス株式会社	5.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2.73	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2.62
楽天証券株式会社	2.62	楽天証券株式会社	2.52
XPEC ENTERTAINMENT INC.	2.45	XPEC ENTERTAINMENT INC	2.35
株式会社SBI証券	2.41	株式会社SBI証券	2.32
東京短資株式会社	2.40	東京短資株式会社	2.31
寺岡 聖剛	1.79	寺岡 聖剛	1.72
ポールトゥウィン株式会社	1.78	ポールトゥウィン株式会社	1.71

- (注) 1. 募集前の大株主及び持株比率は、2024年3月31日時点の株主名簿を基準としております。
2. 募集後の大株主の持株比率は、2024年3月31日時点の発行済株式総数に、本新株式の発行による普通株式を加えて算出した数値です。
3. 「持株比率」は、発行済株式総数に対する所有株式数の割合を、小数点第3位を四捨五入して算出しております。
4. 当社株主であり、かつ当社役員である石井 武氏は、2022年11月28日の第2回無担保転換社債型

新株予約権付社債、第7回新株予約権及び第8回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行に伴い、その保有する当社普通株式の一部について EVO FUND への貸株を行っております（契約期間：2022年11月10日～2025年12月26日、貸借株数（上限）：1,740,000株、貸借料：年率1.0%、担保：無し）。なお、EVO FUNDは、第2回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換及び第7回新株予約権及び第8回新株予約権（行使価額修正条項付）の行使により取得する当社普通株式の数量の範囲内で、ヘッジ目的で行う売付け以外の目的のために売却その他処分しないことになっております。

8. 今後の見通し

本第三者割当より調達した資金を、上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2）調達する資金の具体的な使途」に記載の使途に充当することによって、当社グループの売上の拡大と収益獲得により、将来的な企業価値向上の実現に寄与するものと考えております。

また、今回の資金調達による当期連結業績に与える影響は軽微なものと見込んでおりますが、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示します。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本第三者割当は、希薄化率が25%未満であること、支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の有価証券上場規程第432条「第三者割当に係る遵守事項」に定める独立第三者から意見の入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結）

決算期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
売上高（千円）	7,291,312	6,004,310	4,387,858
営業損失（△）（千円）	△554,839	△801,755	△556,081
経常損失（△）（千円）	△348,579	△740,306	△522,240
親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	△388,785	△780,445	△420,604
1株当たり当期純損失金額（△）（円）	△22.34	△44.85	△23.23
1株当たり配当金（円）	—	—	—
1株当たり純資産額（円）	97.35	53.33	48.24

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（2024年9月11日現在）

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	20,850,533株	100.00%
現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数	2,327,200株	11.16%
下限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	2,327,200株	11.16%
上限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—	—

(3) 最近の株価の状況

①最近3年間の状況

	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
始 値	517円	407円	298円

高 値	615 円	426 円	314 円
安 値	366 円	274 円	178 円
終 値	410 円	298 円	222 円

(注) 各株価は、東京証券取引所スタンダード市場におけるものであります。

②最近6ヶ月間の状況

	2024年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
始 値	138 円	134 円	128 円	130 円	125 円	116 円
高 値	138 円	145 円	134 円	133 円	154 円	119 円
安 値	127 円	123 円	123 円	124 円	78 円	93 円
終 値	135 円	127 円	130 円	126 円	116 円	103 円

(注) 2024年9月の状況につきましては、2024年9月10日現在で表示しております。

③発行決議日前営業日における株価

	2024年9月10日
始 値	101 円
高 値	104 円
安 値	99 円
終 値	103 円

(4)最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

【第三者割当による第2回転換社債型新株予約権付社債の発行】

払 込 期 日	2022年11月28日
調 達 資 金 の 額	400,000,000 円 (差引手取概算額)
転 換 価 額	当初転換価額 252.9 円
募 集 時 に お け る 発 行 済 株 式 数	17,405,198 株
割 当 先	EVO FUND (エボ ファンド)
当 該 募 集 に よ る 潜 在 株 式 数	当初の転換価額 (252.9 円) における潜在株式数 : 1,581,640 株 上限行使価額はありませぬ。 転換価額下限値 (140.5 円) における潜在株式数 : 2,846,960 株
現 時 点 に お け る 転 換 状 況	転換済株式数 : 2,030,335 株 (残高 0 円、転換価額 ー円)
発 行 時 に お け る 当 初 の 資 金 使 途	新規タイトル及び追加開発の費用・運営費用 400 百万円
発 行 時 に お け る 支 出 予 定 時 期	2022年11月~2023年9月
現 時 点 に お け る 充 当 状 況	新規タイトルの追加開発の費用・運営費用 166 百万円 事業構造転換のための資金 95 百万円 借入金の返済 114 百万円

【第三者割当による第7回新株予約権の発行】

割 当 日	2022年11月28日
発行新株予約権数	20,562個
発行価額	2,673,060円
発行時における調達予定資金の額 (差引手取概算額)	522,686,040円 (520,000,000円)
割 当 先	EVO FUND (エボ ファンド)
募集時における発行済株式数	17,405,198株
当該募集による潜在株式数	当初の行使価額(252.9円)における潜在株式数:2,056,200株 上限行使価額はありません。 下限行使価額は140.5円ですが、下限行使価額においても、潜在株式数は2,056,200株です。
現時点における行使状況	行使済株式数:572,000株 (残新株予約権数 14,842個、行使価額 140.5円)
現時点における調達した資金の額 (差引手取概算額)	100,666,260円
発行時における当初の資金用途	新規タイトルの追加開発の費用・運営費用 75百万円 人材支援事業拡大の為の事業資金 236百万円 事業構造転換のための資金 95百万円 借入金の返済 114百万円
現時点における充 当 状 況	人材支援事業拡大の為の事業資金 83百万円

【第三者割当による第8回新株予約権の発行】

割 当 日	2022年11月28日
発行新株予約権数	16,860個
発行価額	1,197,060円
発行時における調達予定資金の額 (差引手取概算額)	427,586,460円 (422,000,000円)
割 当 先	EVO FUND (エボ ファンド)
募集時における発行済株式数	17,405,198株
当該募集による潜在株式数	当初の行使価額(252.9円)における潜在株式数:1,686,000株 上限行使価額はありません。 下限行使価額は140.5円ですが、下限行使価額においても、潜在株式数は1,686,000株です。
現時点における行使状況	行使済株式数:843,000株 (残新株予約権数 8,430個、行使価額 140.5円)

現時点における 調達した資金の額 (差引手取概算額)	119,638,560 円
発行時における 当初の資金使途	新規事業開発にかかる資本業務提携先との協業のための資金 422 百万円
現時点における 充 当 状 況	新規事業開発にかかる資本業務提携先との協業のための資金 44 百万円

【別紙】

発行要項

1.	募集株式の種類及び数	当社普通株式 843,000 株
2.	払込金額	1 株につき金 118 円
3.	払込金額の総額	金 99,474,000 円
4.	増加する資本金及び資本準備金の額	資本金 金 49,737,000 円 資本準備金 金 49,737,000 円
5.	払込期日	2024 年 9 月 26 日
6.	募集又は割当方法	第三者割当
7.	割当先及び割当株式数	G Future Fund 1 号投資事業有限責任組合 843,000 株
8.	払込取扱場所	株式会社みずほ銀行 渋谷支店